

神の国の教え⑨律法から福音



ルカの福音書13章22-30

2012,12,30 HKJCF

I 概要

序)①神の国の入国法←福音信仰(信仰義認)②律法から福音へ←イエス革命

1、神の国の革命(1) 22-28

2、神の国の革命(2)

3、神の国の革命(3)

4、神の国の革命(4) 29-30

適用)1年間の福音の恵みに感謝し、福音の愛が周囲に広がるように祈りましょう

II 神の国の革命(1)

1、救いの重要性

①イスラエル全体の救いか？

②まずあなたから、そして周囲へ

③救われる人の数 黙示録14:1

2、神の国入国の決断⇒重要性・緊急性・集中性

3、不法な入国法① 入国期間の終了
ルカ12:56、マタイ25:1-13

III 神の国の革命(2)

1、不法な入国法② 禁止令・わざく実(生命的つながりからの) マタイ7:15-25

2、実とは？

イエス様への信仰の実 ヨハネ6:28-29

⇒ユダヤ教等の宗教的行為ではなく、イエス・キリストを信じ(つながり)主のみ言に従順であることを求め続けること

IV 神の国の革命(3)

1、不法な入国法③ 信仰と愛の分離
マタイ25:31-46

2、イエス様への信仰の実による吟味

3、信仰のしるし:神の愛 エペソ3:14-19

①父なる神と主への愛(高さ)

②家族・兄弟姉妹への愛(長さ)

③最も小さい者への愛(広さ)

④地の果てまでの愛(広さ)

⑤敵への愛(深さ)

V 神の国の革命(4)

1、イエス様の革命=神の国の革命

⇒律法から福音へ(パウロ:使徒17:6)

⇒上と下を逆転:turn the world upside down

2、旧約の聖徒達も福音信仰者だった

⇒継続的な革命(福音信仰)が必要

先→後、後→先(マタイ19:30)

3、上下・前後の逆転